※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学β	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「化学」　（啓林館）						
副教材等	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）リードLightノート(数研出版) スクエア最新図説化学（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然科学の中心を占める化学は「セントラルサイエンス」と呼ばれており，物理学・生物学・地学などあらゆる分野に複合的に関わっている。化学で得た知識や経験は自然科学の土台となりうるので，しっかりと目的意識を持って取り組んでほしい。化学βでは「無機化学」と「有機化学」を体系的に学んでいく。主体的に観察・実験などに参加し，化学が日常生活と密接に関係していることを引き続き，学んでほしい。
授業の基礎的な復習は「リードLightノート」,標準・発展問題の演習は「セミナー化学」を用いて，その都度各自が家庭学習で取り組み、より理解を深めほしい。

2　学習の到達目標

（１）知識及び技能：化学現象の観察，実験などを通して発展期な技能を身に付ける
（２）思考力、判断力、表現力等：・・・観察と情報の収集，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論をすることで化学現象を考察力を身に付ける
（３）学びに向かう力、人間性等：・・・化学現象の観察,実験を通した課題に粘り強く取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら，化学現象についての観察，実験などを行う。 発展的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する発展期な技能が身に付いている。	培った知識・技能を背景に、観察と情報の収集，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論をすることで化学現象を考察することができる。 科学的に探究する力が育まれている。	演習問題に粘り強く取り組んでいるか確認する。 基本的項目として教科書等に与えられている事象以外の未知の発展的領域にも、興味関心を持ち積極的に理解を試みる主体性を評価する。 観察,実験を通した課題に粘り強く取り組む態度を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第3部　無機物質	周期表と元素の分類 非金属元素 典型金属元素 遷移元素	a: 周期表と元素の分類，非金属元素，典型金属元素，遷移元素について理解している。 b: 周期表と元素の分類，非金属元素，典型金属元素，遷移元素について体系的に考え，適切に表現することができる。 c: 以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。を実験によって調べ，考察することができる。	定期考査	定期考査	提出物 課題
2学期	第4部　有機化合物	芳香族化合物	a:芳香族化合物について理解している。 b:芳香族化合物について体系的に考え，適切に表現することができる。 c: 以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。 有機化合物の特徴と分類，脂肪族炭化水素，酸素を含む脂肪族化合物を実験によって調べ，考察することができる。	定期考査	定期考査	提出物 課題
	第5部　高分子化合物	天然高分子化合物	a:天然高分子化合物について理解している。 b: 天然高分子化合物について体系的に考え，適切に表現することができる。 c: 以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。天然高分子化合物を実験によって調べ，考察することができる。	定期考査	定期考査	提出物 課題
3学期	主に問題演習	化学の共通テストタイプ問題の演習を実施 化学の二次試験・私立大学の入試問題演習	a:知識問題 b:思考・判断問題 c:以上の確認や発展課題に対して積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	提出物 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度